



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月28日

上場会社名 株式会社 レッグス
 コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年10月29日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 内川 淳一郎
 (氏名) 米山 誠
 TEL 03-3408-3090

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	11,724	2.9	667	25.5	751	18.5	789	21.5
2019年12月期第3四半期	12,076	18.3	896	26.7	922	25.6	649	27.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 484百万円 (35.6%) 2019年12月期第3四半期 752百万円 (10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	75.24	74.95
2019年12月期第3四半期	61.65	61.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	12,694	6,677	52.2
2019年12月期	9,461	6,731	70.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 6,628百万円 2019年12月期 6,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		34.00	34.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	6.2	700	38.2	780	32.3	800	31.2	76.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	10,840,000 株	2019年12月期	10,840,000 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	451,100 株	2019年12月期	257,680 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	10,490,637 株	2019年12月期3Q	10,537,876 株

(注) 株式給付信託(J-ESOP)制度導入に伴い、期末自己株式数には、信託口が保有する当社株式(2020年12月期3Q99,200株、2019年12月期99,800株)が含まれております。なお、信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年12月期3Q99,200株、2019年12月期99,800株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景況感を示す業況判断指数(DI)が概ね低い水準を示すなど、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、依然として厳しい状況で推移しております。また、わが国を取り巻く環境も、足元では国内外ともに経済活動が再開されつつあるものの、感染再拡大が生じている国もあるほか、米中貿易摩擦の長期化など地政学的な問題も生じていることから、世界経済の先行きについてもしばらく不透明な状況が続くと予想されております。

このような状況下、当社グループでは、受託を中心としたB2Bビジネスであるプレミアム(注1)キャンペーンやVMD(注2)などの各種セールスプロモーションと、自社でリスクをとって高付加価値サービスを提供するB2B2C/D2C(ダイレクト・トゥ・コンシューマー)ビジネスである、コンテンツを活用したコンシューマー向けプロモーション物販・カフェ物販ともに、当第3四半期連結累計期間におきましては、全国的な店舗営業の自粛や各種キャンペーンの中止等、新型コロナウイルス感染拡大による影響を大きく受けることとなりました。当社グループとしましては、引き続き事業・組織・財務の各方面において対応策を講じるとともに、外部環境の変化に対応した新たな商材・サービスの開発やデジタルシフト強化への取り組みを実施しております。また足元では、各種セールスプロモーションの再提案および新規提案に注力するとともに、ソーシャルディスタンスを確保した配席でカフェ物販を再開するなど、業績の回復に努めております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、まず売上高において、流通顧客向け物販および流通顧客向けプレミアムが好調であったものの、おもに新型コロナウイルス感染拡大による飲料メーカー顧客向けプレミアムおよびカフェ物販の不調をカバーできず、全体としては前年同期比で減収となりました。また、営業利益および経常利益に関しても、前述の減収により売上総利益が減少し、前年同期比で減益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益に関しては、投資有価証券売却益を含む特別利益452百万円を計上した結果、前年同期比で増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,724百万円(前年同期比2.9%減)、営業利益は667百万円(前年同期比25.5%減)、経常利益は751百万円(前年同期比18.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は789百万円(前年同期比21.5%増)となりました。

(注1) プレミアムグッズ・プレミアム賞品等、販促活動で提供する景品・商品

(注2) 商品展示効果を高めるため、店舗全体の空間デザインから商品の展示・陳列までを統合的に提供する商材およびサービス

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて3,233百万円増加し、12,694百万円となりました。これは主に、投資その他の資産「関係会社株式」が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて3,287百万円増加し、6,016百万円となりました。これは主に、長期借入金、短期借入金および1年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて54百万円減少し、6,677百万円となりました。これは主に、利益剰余金および自己株式が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2020年10月21日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,873,889	3,206,431
受取手形及び売掛金	3,158,071	3,831,725
有価証券	100,000	100,000
商品	692,056	681,382
その他	170,674	131,189
貸倒引当金	△10,143	△11,886
流動資産合計	7,984,547	7,938,840
固定資産		
有形固定資産	79,568	68,043
無形固定資産	113,794	111,437
投資その他の資産		
投資有価証券	756,141	201,724
関係会社株式	—	3,633,732
その他	527,027	740,751
投資その他の資産合計	1,283,169	4,576,208
固定資産合計	1,476,532	4,755,688
資産合計	9,461,080	12,694,529
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,205,258	1,422,259
未払法人税等	404,907	236,396
賞与引当金	114,847	229,069
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	—	342,060
その他	523,915	388,960
流動負債合計	2,248,930	3,618,746
固定負債		
長期借入金	—	1,886,910
退職給付に係る負債	267,004	285,308
株式給付引当金	53,382	66,294
その他	160,141	159,678
固定負債合計	480,527	2,398,192
負債合計	2,729,457	6,016,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,000	350,000
資本剰余金	222,771	222,869
利益剰余金	5,955,922	6,382,024
自己株式	△180,776	△356,864
株主資本合計	6,347,917	6,598,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	295,870	△6,284
繰延ヘッジ損益	—	△157
為替換算調整勘定	38,718	35,455
退職給付に係る調整累計額	—	1,169
その他の包括利益累計額合計	334,588	30,182
新株予約権	49,115	49,379
純資産合計	6,731,622	6,677,591
負債純資産合計	9,461,080	12,694,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	12,076,495	11,724,175
売上原価	8,397,432	8,157,168
売上総利益	3,679,062	3,567,007
販売費及び一般管理費	2,782,762	2,899,331
営業利益	896,299	667,675
営業外収益		
受取利息	2,779	3,301
受取配当金	6,269	—
持分法による投資利益	—	61,474
為替差益	2,380	304
受取保険金	2,631	9,814
受取手数料	8,242	14,576
その他	4,115	16,060
営業外収益合計	26,419	105,532
営業外費用		
支払利息	—	10,899
コミットメントフィー	—	3,388
その他	369	7,258
営業外費用合計	369	21,546
経常利益	922,349	751,661
特別利益		
新株予約権戻入益	361	1,746
投資有価証券売却益	—	450,501
特別利益合計	361	452,247
特別損失		
投資有価証券評価損	—	39,999
特別損失合計	—	39,999
税金等調整前四半期純利益	922,711	1,163,908
法人税、住民税及び事業税	321,011	445,898
法人税等調整額	△47,928	△71,283
法人税等合計	273,082	374,614
四半期純利益	649,629	789,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	649,629	789,294

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	649,629	789,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126,267	△294,443
繰延ヘッジ損益	180	—
為替換算調整勘定	△23,515	△3,263
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△6,699
その他の包括利益合計	102,932	△304,406
四半期包括利益	752,562	484,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	752,562	484,887

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループでは、全国的な店舗営業の自粛や各種キャンペーンの中止等の影響を受けております。

現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大規模や収束時期等の合理的な予測は困難ですが、当社グループは入手できる情報を踏まえて翌連結会計年度にかけて業績は回復していくものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損等の会計上の見積もりを行っております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。